



# 安全データシート

作成日 2004年5月11日

JIS Z 7253/GHS 分類マニュアル(改訂6版)に準拠

改訂日 2020年12月17日③

## 1 化学品及び会社情報

- 1.1 製品名: 石原グラスジン M ナトリウム液剤 (ペンタゾン・MCPA ナトリウム塩液剤)
- 1.2 用途: 除草剤
- 1.3 会社情報: 会社名 石原産業株式会社  
 住所 大阪市西区江戸堀一丁目3番15号  
 担当部門 三重県四日市市石原町1番地  
 石原産業株式会社 環境安全衛生統括グループ  
 電話:059-345-6205 FAX:059-345-6206
- 1.4 緊急連絡先: 会社名 石原産業株式会社 バイオサイエンス事業本部 生産技術部  
 電話:059-345-6118 FAX:059-345-6180
- 1.5 作成日: 2004年5月11日  
 改訂日: 2020年12月17日③

本製品(農薬)の使用に関するお問合せ先 : 石原テレホン相談室 0120-1480-57(フリーダイヤル)

## 2 危険有害性の要約

### 2.1 化学品の GHS 分類

JIS Z 7253 / GHS 分類マニュアルによる分類(改訂6版)

物理化学的危険性:

|           |         |
|-----------|---------|
| 爆発物       | 区分該当しない |
| 可燃性ガス     | 区分該当しない |
| エアゾール     | 区分該当しない |
| 酸化性ガス     | 区分該当しない |
| 高压ガス      | 区分該当しない |
| 引火性液体     | 区分該当しない |
| 可燃性固体     | 区分該当しない |
| 自己反応性化学品  | 区分該当しない |
| 自然発火性液体   | 区分該当しない |
| 自然発火性固体   | 区分該当しない |
| 自己発熱性化学品  | 分類できない  |
| 水反応可燃性化学品 | 区分該当しない |
| 酸化性液体     | 区分該当しない |
| 酸化性固体     | 区分該当しない |
| 有機過酸化物    | 区分該当しない |
| 金属腐食性物質   | 分類できない  |
| 鈍性化爆発物    | 区分該当しない |

健康に対する有害性:

|                   |         |
|-------------------|---------|
| 急性毒性(経口)          | 区分4     |
| 急性毒性(経皮)          | 分類できない  |
| 急性毒性(吸入:ガス)       | 区分該当しない |
| 急性毒性(吸入:蒸気)       | 分類できない  |
| 急性毒性(吸入:粉じん及びミスト) | 分類できない  |
| 皮膚腐食性/刺激性         | 区分該当しない |
| 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性   | 区分2A    |
| 呼吸器感受性            | 分類できない  |
| 皮膚感受性             | 区分該当しない |
| 生殖細胞変異原性          | 分類できない  |
| 発がん性              | 分類できない  |
| 生殖毒性              | 分類できない  |
| 特定標的臓器毒性(単回ばく露)   | 分類できない  |
| 特定標的臓器毒性(反復ばく露)   | 分類できない  |
| 誤えん有害性            | 分類できない  |

環境に対する有害性:

|                |        |
|----------------|--------|
| 水生環境有害性 短期(急性) | 区分2    |
| 水生環境有害性 長期(慢性) | 区分3    |
| オゾン層有害性        | 分類できない |

# 安全データシート

作成日 2004年5月11日

JIS Z 7253/GHS 分類マニュアル(改訂6版)に準拠

改訂日 2020年12月17日③

## 2.2 GHS ラベル要素

JIS Z 7253 / GHS 分類マニュアル(第6改訂版)による表示

絵表示又はシンボル:



注意喚起語: 警告  
 危険有害性情報: H302 飲み込むと有害  
 H319 強い眼刺激  
 H401 水生生物に毒性  
 H412 長期的影響により水生生物に有害

注意書き:

**【安全対策】**

安全対策については、「7. 取扱い及び保管上の注意」、「8. ばく露防止及び保管措置」を参照。

P264 取扱い後、手や眼をよく洗うこと。  
 P270 この製品を使用する時に飲食または喫煙をしないこと。  
 P280 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。  
 P273 環境への放出を避けること。

**【応急措置】**

応急処置については、「4. 応急措置」、「5. 火災時の措置」を参照。

P301+P312 飲み込んだ場合: 気分が悪い時は、医師に連絡すること。  
 P330 口をすすぐこと。  
 P305+P351+P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを用いて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
 P337+P313 眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当を受けること。

**【保管】**

保管については、「7. 取扱い及び保管上の注意」を参照。

**【廃棄】**

廃棄については、「13. 廃棄上の注意」を参照。  
 P501 内容物／容器は、国／都道府県／市町村等の法・条例に従って適切に廃棄すること。

2.3 その他の危険有害性: 特になし

## 3 組成及び成分情報

3.1 化学物質・混合物の区別: 混合物

3.2 成分:

| 一般名             | ペンタゾンNa                                      | MCPソーダ塩                 |         |
|-----------------|--|-------------------------|---------|
| 化学名             | 3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジジン-(4)-2,2-ジオキシド=ナトリウム塩 | 2-メチル-4-クロロフェノキシ酢酸ナトリウム | その他     |
| 含有率             | 33.0%  | 6.0%                    | 61.0%   |
| 官報公示整理番号<br>化審法 | 農薬取締法に<br>規制される物質                            | (3)-924                 | 全成分登録保証 |
| 官報公示整理番号<br>安衛法 | 8-(7)-863                                    | 4-(4)-210               | 全成分登録保証 |
| CAS No.         | 50723-80-3                                   | 3653-48-3               | 非公開     |

## 4 応急措置

4.1 応急措置の記載

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗う。  
 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合には外し、その後も洗浄を続ける。  
 眼の刺激が持続する場合、医師の診断、手当を受ける。

皮膚に付着した場合: 皮膚を速やかに洗浄する。  
 気分が悪い時は、医師に連絡する。  
 皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断、手当を受ける。  
 外観に変化が見られた場合は、必要に応じて医師の診断を受ける。

吸入した場合: 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。  
 気分が悪い時は、医師に連絡する。



# 安全データシート

作成日 2004年5月11日

JIS Z 7253/GHS 分類マニュアル(改訂6版)に準拠

改訂日 2020年12月17日③

- 飲み込んだ場合: 口をすすぐ。  
直ちに医師に連絡する。  
患者に意識がない場合は、口から何も与えてはならないし、吐かせてもならない。
- 4.2 最も重要な兆候及び症状: データなし
- 4.3 医師に対する特別な注意事項: データなし

## 5 火災時の措置

- 5.1 適切な消火剤: 粉末消火剤、泡消火剤、炭酸ガス
- 5.2 使ってはならない消火剤: 情報なし
- 5.3 特有の危険有害性: 燃焼時、有毒ガス(HCl、NO<sub>x</sub>、SO<sub>x</sub>等)が発生するおそれがある。
- 5.4 特有の消火方法: 情報なし
- 5.5 消火を行う者の保護具及び予防措置: 消火作業の際は、保護具を着用し、眼・鼻・口を覆う保護具(ホースマスク等)を着用するのが望ましい。

## 6 漏出時の措置

- 6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置: 作業に際しては、適切な保護具を着用し、飛散しない方法で回収する。  
直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。  
関係者以外の立入を禁止する。  
適切な防護衣を着けていないときは、破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけません。
- 6.2 環境に対する注意事項: 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。  
公共の水路・水源等に流出したときは、警察・水質関係官庁に知らせる。
- 6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材: 量の漏洩物の除去や廃棄処理の場合は専門家の指示による。  
危険でなければ漏れを止める。
- 6.4 二次災害の防止措置: 可燃物(木、紙、油等)は漏洩物から隔離する。  
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

## 7 取扱い及び保管上の注意

- 7.1 取扱い:
- 技術的対策: 情報なし
- 安全取扱い注意事項: 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずるなどの取り扱いをしてはならない。  
飲み込みを避けること。ラベルをよく読むこと。  
ラベルの記載内容以外に使用しないこと。  
農薬は余らせて廃棄することのないように全てを使い切ること。  
使用済み容器及び散布器具等の洗浄液は農薬散布液調製に用いるなど、圃場内で処理すること。  
有効期限内に使用すること。  
使用済み容器は他の用途には絶対に使用しないこと。  
かぶれやすい体質の人は取り扱いに十分注意すること。
- 接触回避: 皮膚との接触を避けること。  
眼との接触を避けること。
- 衛生対策: 取扱い後、手・顔等をよく洗い、うがいをする事。  
この製品を使用する時に飲食または喫煙をしないこと。
- 7.2 保管:
- 安全な保管条件: 施錠できる場所に保管すること。  
容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。  
容器は直射日光や火気を避け、冷暗所で保管すること。  
食品や飲料と区別して保管すること。  
小児の手の届くところに置かないこと。
- 安全な容器包装材料: 情報なし。

## 8 ばく露防止及び保護措置

- 8.1 許容濃度等:
- 管理濃度: 設定されていない
- 許容濃度: 設定されていない



# 安全データシート

作成日 2004年5月11日

JIS Z 7253/GHS 分類マニュアル(改訂6版)に準拠

改訂日 2020年12月17日③

- 8.2 設備対策: この物質を貯蔵ないし取り扱う作業場には、洗眼器と安全シャワーを設置する。  
管理濃度・許容濃度以下に保つために、換気装置を設置する。
- 8.3 保護具:  
呼吸用保護具: 防塵マスク  
適切な呼吸用保護具を着用する。  
手の保護具: 適切な保護手袋を着用する。  
目、顔面の保護具: 適切な眼の保護具を着用する。  
保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)  
適切な顔面用の保護具を着用する。  
皮膚及び身体の保護具: 適切な保護衣を着用する。
- 8.4 特別な注意事項:

## 9 物理的及び化学的性質

- 9.1 物理状態: 液体  
9.2 色: 赤色澄明  
9.3 臭い: 僅かに特異な臭い  
9.4 融点/凝固点: データなし  
9.5 沸点又は初留点及び沸騰範囲: データなし  
9.6 可燃性: データなし  
9.7 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界: データなし  
9.8 引火点: 引火せず  
9.9 自然発火点: データなし  
9.10 分解温度: データなし  
9.11 pH: 9.0  
9.12 動粘性率: データなし  
9.13 溶解度: データなし  
9.14 n-オクタノール/水分配係数: データなし  
9.15 蒸気圧: データなし  
9.16 密度及び/又は相対密度: 1.17 g/cm<sup>3</sup>  
9.17 相対ガス密度: データなし  
9.18 粒子特性: データなし

## 10 安定性及び反応性

- 10.1 反応性: 法規制に従った保管及び取り扱いにおいては安定と考えられる。  
10.2 化学的安定性: 法規制に従った保管及び取り扱いにおいては安定と考えられる。  
10.3 危険有害反応可能性: データなし  
10.4 避けるべき条件: データなし  
10.5 混触危険物質: データなし  
10.6 危険有害な分解生成物: データなし。加熱や燃焼により分解し、有害ガス(HCl、NO<sub>x</sub>、SO<sub>x</sub>等)を発生するおそれがある。

## 11 有害性情報

- 11.1 急性毒性: 経口 LD<sub>50</sub> 1932 mg/kg (ラット♂)、1913 mg/kg (ラット♀)  
経皮 LD<sub>50</sub> >2000 mg/kg (ラット♂、♀)  
吸入 データなし  
11.2 皮膚腐食性/刺激性: 軽度の刺激性あり  
11.3 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 中程度の刺激性あり  
11.4 呼吸器感作性又は皮膚感作性: 呼吸器感作性: データなし  
皮膚感作性: 感作性なし(モルモット)  
11.5 生殖細胞変異原性: データなし  
11.6 発がん性: データなし  
11.7 生殖毒性: データなし  
11.8 特定標的臓器毒性(単回ばく露): データなし  
11.9 特定標的臓器毒性(反復ばく露): データなし  
11.10 誤えん有害性: データなし



# 安全データシート

作成日 2004年5月11日

JIS Z 7253/GHS 分類マニュアル(改訂6版)に準拠

改訂日 2020年12月17日③

## 12 環境影響情報

- 12.1 生態毒性: 水生環境有害性 短期(急性)
- |        |                   |                   |
|--------|-------------------|-------------------|
| コイ     | LC <sub>50</sub>  | >1000 mg/L(96 時間) |
| オオミジンコ | EC <sub>50</sub>  | >1000 mg/L(48 時間) |
| 藻類     | ErC <sub>50</sub> | 2.5 mg/L(72 時間)   |
- 水生環境有害性 長期(慢性)  
ペンタゾン Na と MCP ソーダ塩の毒性から区分 3 とした。
- 12.2 残留性・分解性: データなし  
12.3 生体蓄積性: データなし  
12.4 土壤中の移動性: データなし  
12.5 オゾン層への有害性: 本品の成分はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

## 13 廃棄上の注意

- 内容物/容器を国/都道府県/市町村等の法・条例に従って適切に廃棄すること。
- 13.1 内容物の廃棄: 使用残農薬及び空容器の排出事業者自身で、許可を受けた廃棄物処理業者に処理を委託する。  
市町村が回収処分をしているところでは、定められた方法に従う。  
使用残農薬及び空容器を地域共同で適正に回収処分する体制が確立しているところでは、当該システムにより処分する。  
使用済み容器及び散布器具等の洗浄液は、農薬散布液調製に用いるなど、圃場内で処理する。
- 13.2 容器の廃棄: 空容器を廃棄する場合は、内容物を除去した後に適切に処分する。

## 14 輸送上の注意

- 14.1 国連番号: 該当しない  
品名: —  
国連分類: —  
容器等級: —
- 14.2 海洋汚染物質: 該当しない  
14.3 MARPOL73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質: 該当しない
- 14.4 輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策: 輸送前に容器の破損・腐食・漏れ等が無いことを確認する。  
転倒・落下・破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
- 14.5 国内規制がある場合の規制情報: 該当しない  
14.6 応急措置指針番号: 該当しない

## 15 適用法令

- 農薬取締法: 農薬登録番号 第 17327 号  
毒物及び劇物取締法: 該当しない  
消防法: 該当しない  
労働安全衛生法: 第 57 条(表示対象物質) 該当しない  
第 57 条の 2(通知対象物質) 該当しない
- 化審法: 該当しない  
化管法: 第 1 種指定化学物質 該当しない  
第 2 種指定化学物質 該当しない  
\* MCP ソーダ塩は PRTR 法の指定化学物質に該当しませんが、MCP 酸は第一種指定化学物質(第 130 号)に該当します。本製品は MCP 酸に換算すると含有量 5.4 %となります。

## 16. その他の情報

本SDSは日産化学株式会社「日産グラスジンMナトリウム液剤」安全データシート(改訂日:2018年7月1日)をもとに作成しています。



製品名: 石原グラスジン M ナトリウム液剤 (ペンタゾン・MCPA ナトリウム塩液剤) SDS No. A-1093

## 安全データシート

作成日 2004年5月11日

JIS Z 7253/GHS 分類マニュアル(改訂6版)に準拠

改訂日 2020年12月17日③

石原の農薬(石原産業株式会社)  
本製品(農薬)の使用に関するお問合せ  
石原テレホン相談室

0120-1480-57(フリーダイヤル)

※石原バイオサイエンス㈱の全国の支店のうち、最寄りの事業地につながります。

公益財団法人 日本中毒情報センター (事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る)

中毒110番 一般市民専用電話 (大阪) 072-727-2499(情報料無料)  
365日24時間対応

(つくば) 029-852-9999(情報料無料)  
365日9~21時対応

中毒110番 医療機関専用有料電話 (大阪) 072-726-9923(1件2000円)  
365日24時間対応

(つくば) 029-851-9999(1件2000円)  
365日9~21時対応

医療機関の方が一般市民専用電話を使用した場合、情報提供料は有料(1件につき2,000円)となります。

この安全データシート(SDS)は、JIS Z7253:2019に基づいて作成しています。

### 記載内容の取扱い

本 SDS の記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データ等に基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の見取りを対象としたものであり、特別な取扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。記載内容は情報提供であり、保証されるものではありません。